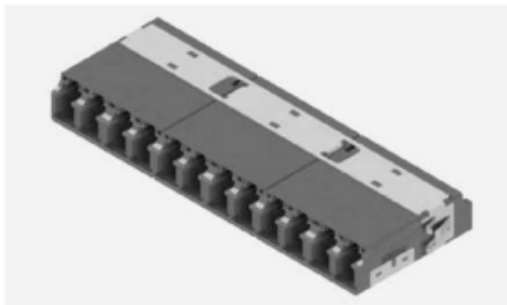


# 光配線 省スペース化

## サンコール、DC向けアダプター



### 多ポート・小型化を両立

【京都】サンコールはデータセンター（DC）向けに、6ポート以上の多ポートタイプの光ファイバーケーブル用アダプターを製品化した。今秋に順次市場投入する。データの大容量化・高速化に伴うケーブル配線の省スペース化需要に対応する。同社は自動車用弁パネが主力だが、第5世代通信（5G）関連需要の拡大などを踏まえて光通信関連部品を成長領域と位置付けている。同部品事業の売上高を2025年度までに21年度比約2倍の約24億円に伸ばす。

光アダプターは光ファイバーの接続で使う部品。同「MPOケーブル向け」「MPO IS クラスタ型化を両立した」「アダプター」をそれぞれ製品化した。

アダプターとして、光ファイバーコアが単芯のLCケーブル向け「スリムパック・クラスタアダプター」、同コアが多芯のMPOケーブル向けに開発したアダプター（12ポートタイプ）サンコール提供）

めポート数以上の光ファイバーケーブルを配線するにはアダプターを複数個並べる必要があり、アダプター間の隙間などスペースのロスが出ていた。LC、MPOケーブル向けの両製品ともアダプター接地面積規格をそろえているため、現在主流のLCケーブルから、今後普及が見込まれるMPOケーブルへの乗り換えのしやすさも訴求する。